

渡邊千春 ちかる 銀行家。明治五年九月二十八日長野縣生れ、大正七
 年六月八日歿（八七—一九一八）。渡邊千秋の長男。帝國大學文科大學卒。
 ドイツの留學として經濟學を修め、歸國後銀行員。のち病を獲て退き、
 療養中漢籍の習ふ。就中周易を研鑽して「周易原論」（大正十年一月
 十五日渡邊昭刊）を著した。他の學生時代の著述と思はれる、神代
 より幕末までの「歌舞變遷史」「樂舞沿革論」（稿本未刊）を遺す。妻と
 の子（陸置置人大山巖の四女）は歌人として知名。

